

## 2014年度 國學院大學法科大学院

### 《3月特別法律科目試験》

# 憲 法

#### ● 注意事項

- 1 試験時間は、14時45分から15時45分までです。
- 2 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 3 解答用紙への記入は、黒もしくは青インクのボールペンまたは万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）を使用してください。これ以外のものを使用した場合は、無効となります。
- 4 訂正をする場合は、明確に線で消してください。修正液等は、使用しないでください。
- 5 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の印刷不鮮明等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入してください。
  - ① 受験番号
  - ② 氏名
- 7 問題の内容に関わる質問については、お答えできません。
- 8 「六法」は、貸与する『ポケット六法』以外使用できません。また、毎試験終了後、『ポケット六法』は回収します。
- 9 解答中に解答用紙を毀損した場合、手を挙げて監督者に知らせてください。監督者の確認後、新しい解答用紙と交換します。
- 10 携帯電話等は、時計としての利用も認められていません。必ず電源を切り、鞆などの中にしまっ、身につけないでください。
- 11 試験開始後、終了まで原則として退室は認めません。
- 12 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。いかなる理由でも解答用紙は、持ち帰ることはできません。
- 13 体調が悪い場合は、手を挙げて必ず監督者に伝えてください。

問 次の事例を読んで、以下の設問に答えなさい。

テレビ放送事業者であるXは、そのドキュメント番組「密着ヤクザ24時」において、暴力団組長および数名の組員が債務者Aに対して大声で威嚇し、Aが座っている椅子を蹴り倒すなどして債務の返済を迫る場面を放送した。

この場面は、上記暴力団組長および組員の同意を得て撮影したものであり、顔はモザイク処理されていた。なお、放送はされなかったが、一連の暴行によりAは全治1ヵ月の傷害を負った。

この放送を端緒にして、暴力行為等処罰に関する法律違反および傷害の疑いで捜査が開始され、上記の暴力団組長および組員が逮捕された。

被疑者らは犯行を認めたが、その供述が不十分であり、また、被疑者らと被害者Aの供述に一致しないところがあったため、司法警察職員が差押許可状に基づき、被疑事実の裏付けとなる編集前のビデオテープを差し押さえた。

Xは差押処分を求め、準抗告を申し立てた。

〔設問1〕 Xが差押処分の取消しを求める憲法上の論拠を示しなさい。

〔設問2〕 本件準抗告を棄却する場合の憲法上の論拠を示しなさい。